

リース業界の「低炭素社会実行計画」

		計画の内容
1. 国内の企業活動における2020年の削減目標	目標	本社床面積当たりの電力消費量について、基準年度（2009年度）129.6kwh/m ² に対して、2020年度の目標水準を116.6kwh/m ² とする（基準年度対比10%削減）。
	設定根拠	業務部門における電力消費がほぼ100%を占めており、本社における電力消費量を削減することが温室効果ガスの排出量削減にもっとも効果的であると考えられるためであり、過去との対比を可能とするため原単位ベースを採用した。 基準年度から2020年度まで、おおよそ1%ずつエネルギー消費量を削減することを想定した上で、本社移転等の流動的要素、参加会社数の増加等を勘案して、基準年度対比で10%削減することとした。
2. 低炭素製品・サービス等による他部門での削減		低炭素設備のリースにより、経済界の低炭素設備の導入を支援する。 リース業界においては、低炭素設備リース信用保険、家庭・事業者向けエコリース促進事業等を活用して、低炭素設備のリースによる導入支援を行っている。
3. 海外での削減貢献		該当なし
4. 革新的技術の開発・導入		該当なし
5. その他の取組・特記事項		2013年11月に低炭素社会実行計画を策定した。

リース業における地球温暖化対策の取組

平成 26 年 12 月 22 日
公益社団法人リース事業協会

I. リース業の概要

(1) 主な事業

事業者に対して産業機械、設備、その他の物品を特定の使用者にかわって調達し、それを賃貸する事業(総合リース業)

(2) 業界全体に占めるカバー率

業界全体の規模		業界団体の規模		低炭素社会実行計画 参加規模	
企業数	248社	団体加盟 企業数	248社	計画参加 企業数	104社 (41.9%)
市場規模	リース取扱高 52,390億円	団体企業 売上規模	リース取扱高 52,390億円	参加企業 売上規模	リース取扱高 41,619億円 (79.4%)

(3) 計画参加企業・事業所

① 低炭素社会実行計画参加企業リスト
別紙1参照。

② 各企業の目標水準及び実績値
各企業の目標水準及び実績値は非公表(低炭素社会実行計画に参加する会員会社全社としての取組みとして実施している)

(4) カバー率向上の取組

会員会社に対して、低炭素社会実行計画の周知徹底及び複数回の参加要請を行った。

Ⅱ. 国内の企業活動における2020年の削減目標

(1)削減目標

① 目標

削減目標 (2013年11月策定)

本社床面積当たりの電力消費量について、基準年度(2009年度)129.6kwh/m²に対して、2020年度の目標水準を116.6kwh/m²とする(基準年度対比10%削減)。

② 前提条件

基準年度(2009年度)から2020年度まで、本社床面積当たりの電力消費量を対象として、おおよそ毎年1%ずつエネルギー消費量を削減することを想定した上で、本社移転等の流動的要素、参加会社数の増加等を勘案して、基準年度対比で10%削減することとした。

③ 目標指標選択、目標水準設定の理由とその妥当性

【目標指標の選択の理由】

原単位ベース(本社床面積当たりの電力消費量)で基準年度(2009年度)対比10%減とした。

本目標は、業務部門における電力消費がほぼ100%を占めており、本社における電力消費量を削減することが温室効果ガスの排出量削減にもっとも効果的であると考えられるためであり、過去との対比を可能とするため原単位ベースを採用した。

基準年度については、地球温暖化対策自主行動計画の実績を踏まえつつ、東日本大震災による電力需給の環境変化が生じる前の2009年度とした。

【目標水準の設定の理由、自ら行いうる最大限の水準であることの説明】

基準年度(2009年度)から2020年度まで、おおよそ毎年1%ずつエネルギー消費量を削減することを想定した上で、本社移転等の流動的要素、参加会社数の増加等を勘案して、基準年度対比で10%削減することとした。

不参加会社の原単位は参加会社と比べると大きな乖離があり、今後、不参加会社の低炭素社会実行計画への参加が増えることにより、原単位が悪化する可能性が高い。

このような状況のなか、現状の参加会社(104社)は出来る限りの原単位の減少を図るとともに、今後参加する不参加会社に対しても参加会社と同様の取組みを求める。したがって、本目標値は低炭素社会実行計画の参加会社が行い得る最大限の水準である。

【導入を想定しているBAT(ベスト・アベイラブル・テクノロジー)、ベストプラクティスの削減見込量、算定根拠】

BAT ・ベストプラクティス	削減見込量	算定根拠 (左記の設備機器がBATである根拠、導入スケジュールを含む)
省エネ設備等の導入	—	—
低炭素社会実行計画の参加会員会社を増加するための啓発活動の実施	—	—

④ データに関する情報

指標	出典	設定方法
生産活動量	<input type="checkbox"/> 統計 <input checked="" type="checkbox"/> 会員企業アンケート <input type="checkbox"/> その他(推計等)	低炭素社会実行計画の参加会社104社に対してアンケート調査を実施した。
エネルギー消費量	<input type="checkbox"/> 統計 <input checked="" type="checkbox"/> 会員企業アンケート <input type="checkbox"/> その他(推計等)	低炭素社会実行計画の参加会社104社に対してアンケート調査を実施した。
CO2排出量	<input type="checkbox"/> 統計 <input type="checkbox"/> 会員企業アンケート <input type="checkbox"/> その他(推計等)	該当なし (当協会の目標は、本社床面積当たりの電力消費量の削減としている)

⑤ 係数に関する情報

排出係数	理由／説明
電力	<input type="checkbox"/> 実排出係数 <input type="checkbox"/> 調整後排出係数 <input type="checkbox"/> 特定の排出係数に固定 <input type="checkbox"/> 過年度の実績値(年度:) <input type="checkbox"/> その他(説明:) 上記排出係数を設定した理由: ※当協会の低炭素社会実行計画は原単位ベース(本社床面積当たりの電力消費量)を用いている。
その他燃料	<input type="checkbox"/> 低炭素社会実行計画のフォローアップにおける係数(総合エネルギー統計2012年度確報版)を利用 <input type="checkbox"/> その他(内容・理由:)

⑥ 業界間バウンダリーの調整状況

複数の業界団体に所属する会員企業はない。

⑦ 自主行動計画との差異

- 別紙3参照
- 差異なし

(2)実績概要

① 2013 年度における実績概要

【目標に対する実績】

目標指標	基準年度	目標水準	2013年度実績(基準年度比) ()内は、2012年度実績
116.6kwh/m ²	2009年度	▲10.0%	105.4 kwh/m ² ▲18.7% (+2.1%)

【CO2 排出量実績】

CO2排出量 (万t-CO2)	CO2排出量 (万t-CO2) (前年度比)	CO2排出量 (万t-CO2) (基準年度比)
0.9	0.0%	+12.5%

(注) 電力排出係数は、調整後排出係数 (5.70kg-CO2/kWh) を用いた。

② データ収集実績(アンケート回収率等)、特筆事項

低炭素社会実行計画参加会社のリース取扱高シェアは 79.4%となっている(アンケート回収率 100.0%:うち低炭素社会実行計画参加会社数の割合は 41.9%)。

- ③ 生産活動量、エネルギー消費量・原単位、CO2 排出量・原単位の実績(実排出係数、クレジット調整後排出係数、排出係数固定、業界想定排出係数)
別紙4-1、4-2参照。

【生産活動量】

原単位ベース(本社床面積当たりの電力消費量)を用いているため、生産活動量は本社の床面積を用いている。
2013 年度の本社床面積は 152,600 m²となり、2012 年度に比べて減少しているが、参加会社数の変動、本社移転等が原因である。

【エネルギー消費量、エネルギー消費原単位】

(エネルギー消費量)
参加会社の本社の電力使用量を把握している。2013 年度は 1,609 万 kwh の電力を使用した。

(エネルギー消費原単位)
エネルギー消費量が少ないビルへの移転、電力消費量の削減効果により、本社床面積当たりの電力消費量は 105.4 kwh/m² (基準年度対比▲18.7%)となっている。

(省エネ法ベンチマーク指標に基づく目指すべき水準との比較)
該当なし

【CO2 排出量、CO2 排出原単位】

別紙5の要因分析についても参照。

(CO2 排出量)
該当なし(本社床面積当たりの電力消費量を目標指標としている)

(CO2 排出原単位)
該当なし(本社床面積当たりの電力消費量を目標指標としている)

- ④ 国際的な比較・分析

諸外国のリース業のデータが皆無のため比較・分析ができない。

⑤ 実施した対策、投資額と削減効果

別紙6参照。本社事務所は賃借オフィスのため投資額はない。

⑥ 投資実績の考察と取組の具体的事例

(考察)
該当なし

(取組の具体的事例)
該当なし

⑦ 今後実施予定の対策、投資予定額と削減効果の見通し

別紙6参照。本社事務所は賃借オフィスのため投資額はない。

⑧ 目標とする指標に関する 2013 年度の見通しと実績との比較・分析結果及び自己評価

別紙4-1、4-2参照。

想定比:494%%
分析・自己評価:
エネルギー原単位は大幅に減少しているが、参加会社の大幅なエネルギー削減が要因となっている。

(注1) 想定比 = (基準年度の実績水準 - 当年度の実績水準) / (基準年度の実績水準 - 当年度の想定した水準) × 100 (%)

(注2) BAU 目標を設定している場合は、
想定比 = (当年度の削減量実績) / (当年度の想定した削減量) × 100 (%)

⑨ 2014 年度の見通し

別紙4-1、4-2参照。

見通しの設定根拠
低炭素社会実行計画では、2009 年度(基準年度)から 2020 年度まで、毎年概ね 1% ずつエネルギー消費量を削減することを想定した上で、本社移転等の流動的要素、参加会社数の増加等を勘案して、基準年度対比で 10%削減することとしている
2013 年度は低炭素社会実行計画の計画初年度だったこともあり、社内体制が整わない等の理由により従来の地球温暖化対策自主行動計画参加会社 18 社が参加を見送ったが、低炭素社会実行計画に新たに参加した会社が 7 社あった。
2014 年度は、低炭素社会実行計画の周知徹底を更に図ることにより、低炭素社会実行計画の非参加会社 30 社程度が参加することが見込まれており、概ね計画通りの昨年度対比 1%減となることが想定される。

⑩ 2020 年度の目標達成の蓋然性

別紙4-1、4-2参照。

進捗率:186%
分析・自己評価:
2020 年度の目標達成は可能と考えている。
2014 年度以降は非参加会社が低炭素社会実行計画に参加することにより、概ね計画通りの見通しとなることが想定される。

(注1) 進捗率 = (基準年度の実績水準 - 当年度の実績水準) / (基準年度の実績水準 - 2020 年度の目標水準) × 100 (%)

(注2) BAU 目標を設定している場合は、
進捗率 = (当年度削減量実績) / (2020 年度の目標水準) × 100 (%)

⑪ クレジット等の活用実績・予定と具体的事例

【活用方針】

クレジット等の活用予定はない。

【活用実績】

別紙7参照。活用実績はない。

【具体的な取組】

該当なし。

(3) 業務部門(本社等オフィス)における取組

① 業務部門(本社等オフィス)における排出削減目標

削減目標:2013年11月策定

本社床面積当たりの電力消費量について、基準年度(2009年度)129.6kwh/m²に対して、2020年度の目標水準を116.6kwh/m²とする(基準年度対比10%削減)。

② エネルギー消費量、CO₂排出量等の実績

本社オフィス等のCO₂排出実績(低炭素社会実行計画参加104社計)

	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度
床面積 (万m ²)	16.1	17.0	16.3	16.7	16.9	16.9	17.5	16.1
電力消費量 (万kwh)	2,183.4	2,198.7	2,054.8	2,162.0	2,076.5	1,960.5	1,801.2	1,608.6
CO ₂ 排出量 (万t-CO ₂)	0.9	1.0	0.8	0.8	0.7	0.9	0.9	0.9
エネルギー原単位 (kwh/m ²)	136.0	129.0	126.4	129.6	122.9	116.0	103.2	105.4
CO ₂ 排出原単位 (t-CO ₂ /万m ²)	0.056	0.059	0.049	0.048	0.041	0.053	0.051	0.056

CO₂排出量は調整後係数を使用

③ 実施した対策と削減効果

別紙8参照。

④ 実績の考察と取組の具体的事例

(考察)

- ・昼休み時などの消灯徹底化、退社時のパソコン電源オフ、冷暖房温度の設定は多くの参加会社が実施している。
- ・2013年度は高効率照明の導入、エレベータ使用台数の削減による効果があった。

(取組の具体的事例)

- ・昼休み時などの消灯徹底化
- ・退社時のパソコン電源オフ
- ・冷暖房温度の設定(冷房28度、暖房20度)
- ・照明のインバーター化、高効率照明の導入
- ・トイレ等の照明に人感センサー導入
- ・エレベータ使用台数の削減 等

⑤ 今後実施予定の対策と削減効果の見通し

別紙8参照。

(4) 運輸部門における取組(該当なし)

① 運輸部門における排出削減目標

削減目標:〇〇年〇月策定
該当なし

② エネルギー消費量、CO2排出量等の実績

	2006 年度	2007 年度	2008 年度	2009 年度	2010 年度	2011 年度	2012 年度	2013 年度
輸送量 (トン・km)								
エネルギー消費量 (MJ)								
CO2 排出量 (万 t-CO2)								
エネルギー原単位 (MJ/m ²)								
CO2 排出原単位 (t-CO2/トン・km)								

③ 実施した対策と削減効果

対策項目	対策内容	削減効果
該当なし		t-CO2/年 削減
		t-CO2/年 削減
		t-CO2/年 削減

④ 実績の考察と取組の具体的事例

(考察)
該当なし

(取組の具体的事例)
該当なし

⑤ 今後実施予定の対策と削減効果の見通し

対策項目	対策内容	削減効果
		t-CO2/年 削減
		t-CO2/年 削減
		t-CO2/年 削減

Ⅲ. 低炭素製品・サービス等による他部門での貢献

(1) 低炭素製品・サービス等の概要、削減見込量及び算定根拠

低炭素製品・サービス等	当該製品等の特徴、従来品等との差異など	削減見込量	算定根拠、データの出所など

(2) 2013 年度の取組実績

低炭素製品・サービス等	取組実績	削減効果

(3) 2013 年度実績の考察と取組の具体的事例

<p>(考察)</p> <p>(取組の具体的事例) リース業界においては、低炭素設備リース信用保険、家庭・事業者向けエコリース促進事業等を活用して、低炭素設備のリースによる導入支援を行っている。</p>

(4) 今後実施予定の取組

<p>(2014 年度に実施予定の取組) 引き続き、低炭素設備リース信用保険、家庭・事業者向けエコリース促進事業等を活用して、低炭素設備のリースによる導入支援を行う。</p> <p>(2020 年度に向けた取組予定) 低炭素設備のリースにより、経済界の低炭素設備の導入を支援する。</p>
--

IV. 海外での削減貢献(該当なし)

(1) 海外での削減貢献の概要、削減見込量及び算定根拠

海外での削減貢献等	削減貢献の概要	削減見込量	算定根拠、データの出所など

(2) 2013 年度の実績

海外での削減貢献等	取組実績	削減効果

(3) 2013 年度実績の考察と取組の具体的事例

(考察)
(取組の具体的事例)

(4) 今後実施予定の取組

(2014 年度に実施予定の取組)
(2020 年度に向けた取組予定)

VI. その他の取組

(1) 2020年以降の低炭素社会実行計画・削減目標

項目		計画の内容
1. 国内の企業活動における2030年の削減目標	目標	未策定
	設定根拠	(設定根拠) (2025年の見通し)
2. 低炭素製品・サービス等による他部門での削減貢献		低炭素設備のリースにより、経済界の低炭素設備の導入を支援する。リース業界においては、低炭素設備リース信用保険、家庭・事業者向けエコリース促進事業等を活用して、低炭素設備のリースによる導入支援を行っている。
3. 海外での削減貢献		該当なし
4. 革新的技術の開発・導入		該当なし
5. その他の取組・特記事項		該当なし

(2)情報発信

① 業界団体における取組

・地球温暖化対策自主行動計画及び低炭素社会実行計画の実施結果については、協会ホームページ及び月刊リリースに掲載して、社会に広く公表している。

② 個社における取組

・一部の参加会社は、各社のホームページ等にエネルギー削減の取組等を掲載している。

③ 取組の学術的な評価・分析への貢献

(3)家庭部門(環境家計簿等)、リサイクル、CO2 以外の温室効果ガス排出削減等の取組

(4)検証の実施状況

① 計画策定・実施時におけるデータ・定量分析等に関する第三者検証の有無

検証実施者	内容
<input checked="" type="checkbox"/> 政府の審議会	
<input type="checkbox"/> 経団連第三者評価委員会	
<input type="checkbox"/> 業界独自に第三者(有識者、研究機関、審査機関等)に依頼	<input type="checkbox"/> 計画策定 <input type="checkbox"/> 実績データの確認 <input type="checkbox"/> 削減効果等の評価 <input type="checkbox"/> その他()

② (①で「業界独自に第三者(有識者、研究機関、審査機関等)に依頼」を選択した場合) 団体ホームページ等における検証実施の事実の公表の有無

<input type="checkbox"/> 無し	
<input type="checkbox"/> 有り	掲載場所: